

1 2 7 5 (1971.1.22)

チェロの堤剛氏に決定  
第二回鳥井音楽賞受賞者

サントリー（株）の創設者故鳥井信治郎を記念して昨年から設けられた鳥井音楽賞（賞状・記念品・賞金100万円）の第2回選考委員会は、昨年と同じく1月20日午後1時から東京・竹平町のパレスサイドビル内「アラスカ」で開かれ、芥川也寸志氏ら審査員11氏による慎重な審査の結果、チェロ奏者堤剛氏に決定した。

堤剛氏は昭和17年東京生まれ。

桐朋学園、米国インディアナ大学音楽科卒。昭和32年第26回音楽コンクール第1位特賞、同38年カザルスコンクール第1位、ミュンヘン国際コンクール第2位など各賞の受賞をはじめ多彩な演奏活動でわが国はもとより広く欧米でも著名な気鋭のチェリスト。

直接受賞の対象となった1970年の演奏活動には6月9日のヒンデミット・レーガー、コダイの無伴奏曲、11月4日ベートーヴェン連続演奏会における「三重協奏曲」の演奏、11月9、11日バッハチェロ組曲全曲連続演奏などがあり、現在、西オントリオ大学客員教授としてカナダに滞在中。

同日午後4時30分から同所で公式発表がおこなわれたが、国際電話を通じ、同氏は審査員の一人門馬直美氏のインタビューに応えて次のように語った。（現地時間は20日午前2時）

「全く突然の受賞なので何を申し上げてよいかわかりません。大変感激しています。

今後も日本人の作曲の紹介を第1にバッハそれからヒンデミットやコダイなど現代音楽にも力を入れ、受賞の榮譽におこたえする意味でも積極的な演奏活動をおこなってゆきたいと思います。5月には日本でまた秋にはヨーロッパとカナダでリサイタルを開く予定ですが大いにやります」

なお、授賞式は2月17日午後5時から7時まで、東京・霞ヶ関の東京会館（霞ヶ関ビル35階）でおこなわれ、同氏は授賞式出席のため帰国する。

以 上